

「子どものころは明るく活発で、学級委員などをやる優等生でした。目立つたいのではなく、推されたらやる、やる人がいなければやる、みんなで楽しんでやろう」という巻き込みタイプでした」と話す児島恵美子さん。予備校のイメージカラーのオレンジ色は明るい児島さんの人柄を表し、教室があるフロアは予備校とは思えないほど明るく開放的です。「本当は小児科医になりたかったのですが、センター試験が終わったその日に父の胃がんが発覚しました。それで6年も大学に行けないと思い、当時4年制だった薬学部に行き、薬剤師を目指すことにしました。しかし国家試験に落ちたことで、薬局に勤めているのに薬剤師資格がないという中途半端な立場で働くことになり、日曜日だけ勉強して国家試験に再チャレンジして合格しました。そのとき落ちたらどれだけ中途半端な立場になるのか、辛い気持ちになるのかを味わい、薬剤師として活躍するよりも、自分と同じ辛い思いをする子を減らしたいと、いう思いが、起業のきっかけになりました。

学生のために落ちたときの居場所を作つてあげたいと思つた児島さんは、勉強以外にメンタルのサポートにも力を入れています。「優秀な大学で勉強しても国家試験に落ちることはあります。最後の山を越えられずに鬱になる学生にたくさん出会つた経験から、心理カウンセラーの資格を取りました。また勉強しないのではなく、勉強のやり方が上手でない子が増えたので、勉強のやり方から指導を始めました。またメンタルが弱い子も増えてきたので、

薬剤師国家試験に落ちた自分の苦い経験から、同じ思いをする子を減らしたくて教育の道へ

—児島恵美子さん(株式会社メディセレ社長・46歳)

モチベーションマネジメントの必要性を痛感しサポートしています」。



1.模試や国家試験直前にモチベーションマネジメントの一環でメディセレ各校(全国6教室)の学生を激励。2.「すべて一から創り出した参考書。本当に大変でした」。3.「合格パーティで学生のホッとした顔を見ると私も嬉しくなります」。4.「学生からの感謝の手紙は私の宝物です」。



左・卒業生にとっても、いつでも頼れる存在の児島さん(左から2番目)。上・「薬剤師だけでなく心理カウンセラーとしても、学生を心と体、心理と薬学の融合でサポートしています」。